

## 第33回京都図書館大会

# 地域資料の拠点たる図書館へ

令和6年11月18日(月) 12:30~16:30 (受付 11:30~)

会場 **あやテラス・ホール(2階)**

(綾部市青野町西馬場下35番地の1)

※会場の録画映像の**後日配信**あり(申込不要)

**地域**の歴史や伝承、文化、災害などを伝える「地域資料」の収集は図書館が担う重要な役割です。しかし、そのための人材や予算、技術などは図書館によって千差万別の状況にあります。第33回京都図書館大会では様々な館種の視点から、「地域資料」の収集・保存・デジタル化・発信・継承のためにできることは何かを考えます。

## 基調講演

### 地域資料の収集から広がる公共図書館と地域とのつながり

**園田 俊介 氏** (京都産業大学 客員教授)

2022年まで愛知県津島市立図書館館長。各種地域資料を収集・整理し、それを基に講演会、資料集発行などを積極展開することで、地域とのつながりや社会教育施設としての学術的信頼の構築に努めた。



## 事例発表

### I 地域資料の収集と整理

京都府立京都学・歴彩館 資料課 楠 久美 氏

### II 「ググる」「タグる」の高校生によるウィキペディアでの地域資料の活用・発信

京都府立丹後緑風高等学校久美浜学舎 探求・広報部 学校図書館司書・edit Tango  
伊達 深雪 氏

### III 神戸大学附属図書館「震災文庫」

神戸大学 情報管理課電子情報グループ 専門職員 守本 瞬 氏

**参加費無料**



↑お申し込みは  
こちらから

【主催】 京都図書館大会実行委員会

【後援】 京都府教育委員会、京都市教育委員会、綾部市教育委員会、京都府市町村教育委員会連合会  
公益社団法人日本図書館協会

【協力】 京都府図書館等連絡協議会、京都府学校図書館協議会、同志社大学図書館情報学研究室